

<霊的備え>

主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ 御名のために 私を義の道に導かれます。(詩篇 23:1-3)

<理解の手引き>

調度、洪水が起きてから(創7:11 参) ノアたちが箱舟の外に出られるまで、約1年間が経過しました。(創8:13 参) ノアの家族と動物たちは、その間、箱舟という限られたスペースの中で生活しなければなりません。おそらくこの期間、彼らは様々な困難に遭い、それぞれに限界を感じていたことでしょう。食糧にも限りがあったはずですが。

しかし、神はそのような彼らをいつも心に留めておられたのです。どのような困難の中にあっても、神は私たちを覚えておられ、忘れてはおられないのです。

そして、調度良い時に、脱出の道を備えてくださるのです。(創8:1-2 参) この神の守りと導きを信ずることができる者は何と幸いなことでしょう。

「オリーブ」: 水に強い植物。鳩と共に平和の象徴として用いられます。

<考えてみよう>

(観察) 大雨がとどめられた後、ノアは何をしましたか?

.....

.....

.....

(解釈) 箱舟から解放されようとしていたノアとその家族は、どんな気持ちでしたか?

.....

.....

.....

(適用) 1節のことばから、神がどのような方であるかを知ることができますか?

.....

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....

.....